

# あおい通信 第143号

## 日本の世界遺産めぐり その二十 国立西洋美術館 (文化遺産)

東京都台東区の上野公園内にある、西洋の美術作品を専門とする美術館



である。独立行政法人国立美術館が運営している。本館は「ル・コルビュジエの建築作品・近代建築運動への顕著な貢献」の構成資産として世界文化遺産に登録されている。

本館の設計はル・コルビュジエによるが、彼の弟子である前川國男・坂倉準三・吉阪隆正が実施設計・監理に協力し完成した。なお新館は前川國男（前川國男建築設計事務所）が設計した。

現在松方コレクションに加えてルネサンス期

より二十世紀初頭までの西洋絵画・彫刻作品の購入を進め、常設展示している。なかでも西洋のオールド・マスター（十八世紀以前の画家）たちの作品を見ることができ、美術館として、日本有数の存在である。西美（せいび）の略称で呼ばれることもある。

総収蔵点数は、絵画、彫刻、工芸、版画、素描など約五五〇〇点。ロダンの彫刻「考える人」やモネの「睡蓮」など、馴染み深い作品を数多く所蔵する。修学旅行などの見学先としてもおなじみである。ル・コルビュジエは邸宅、集合住宅、教会など様々な建物を設計し、美術館については「無限成長美術館」という構想を提案した。四角形の

建物の内部に螺旋状に回廊を配置し、所蔵品が増えるにしたがってあたかも渦が大きくなるように建物を外側に増築していけば、無限に空間を確保できるというものだ。

西洋美術館では、特に本館2階の展示室が、回遊するように設計され、同構想をよく表している。建物を支柱（ピロティ）で持ち上げる構造や、天井高や柱の間隔などを人間の身体に合わせた独自の尺度「モジュール」で決めていることも特徴である。

活動が実り、大変うれしい。世界遺産になればさらに注目も集まるので、上野の街全体をPRしていきたい」と意気込みを語った。

### 葵友の会 広報コーナー

3月の報告  
17日（金）カラオケ「パンパン」にて、7名の参加。  
20日（月）総会とビンゴ大会。葵にて、13名の参加。



### 世評・時評

#### 不老長寿薬？

平成二十八年年度が過ぎ、新年度が始まった。桜花の下、真新しいランドセルが弾んで行き交う。希望や期待が満たされる新年度に成ってほしいものである。

伝説によれば、月の世界には霊水がある。名前を「愛若水（おちみず）」といい、飲んだ人は若返るといふ。その霊水を調合した品かどうか、『竹取物語』のかがや姫も月に帰るとき、不老不死の薬を帝（みかど）に献上している。霊水の夢がほんの少しでも現実になづくのかしら・・・と、わくわく

しながら期待された方もあろう。老化を制御する効果が動物実験で判明しつつある。「長寿物質」をめぐる報道を回想した。この物質、ニコチンアミド・モノヌクレオチドを人間に投与して安全性や効果を調べる臨床研究を京王大学と米国ワシントン大学が計画しているという。

さて、かぐや姫から不老不死の薬を贈られた帝は、どうしただろう。余談ながら、服用せずに薬を焼き捨てている。姫に逢うこともかなわず、悲しみに沈むわが身には無用である・・・と。前途に

### 雑記帳

四月は新年度・新学期がスタートします。親元を離れて新生活を始める新入生や新入社員も多いでしょう。「新」が付くだけで新鮮な気持ちになります。花々が咲き、

生きている希望が満ちあふれてこそその長寿だと、物語の作者はいいなかったのかも知れない。以前に読んだ川柳がある（寿命より貯金が先に逝つちまい）さまざま声のなかに、あすの希望を探す日々なのである。ヨッチャン

樹の芽も吹いて「山までも笑う」。いよいよ春本番の到来です。その第一日はエイプリルフールで、この日の午前中は軽い罪のない嘘で人を騙しても許される日です。昔ヨーロッパの新年は、春の訪れる頃の三月二十五日で四月一日までお祭りを楽しんでいたので、皇帝が突然いまの暦を導入し、新年が寒い一月となつてしまい、怒った人々が四月一日を「嘘の新年」として馬鹿騒ぎしたことがエイプリルフールの起源とされていますが、昔の一年のスタートは春だったよう

◆編集委員会より  
「あおい通信」は、皆様からの原稿を募集しています。係員・飯島まで

昨年年度はお世話になりました。29年度もよろしくお願致します。  
(事務局長)

# 利用者さんの 綴りコーナー

## 本多 奎典(目)

日曜日にお世話になって  
います。運動もあまり  
得意ではありませんが、  
少しずつやっています。  
よろしくお願いいたしま  
す。



## 佐藤 澄子(水)

何力所か見学したなか  
で葵が気に入りました。皆様の  
お仲間になりました。毎  
週楽しみにしております。  
去年はクリスマス会に参  
加させて頂きました。



## 斎藤 芳子(土)

運動は苦ではありません  
。腰や膝が少し痛い  
ですが、調子をみながら頑  
張っています。葵の昼食  
はとてもおいしいので、  
毎回楽しんでいます。



## 米寿を迎えて

麻生 伊登子

昭和四年一月二十日生  
れ、八十八才になった私  
です。

今から二十五年も前の  
事、母が米寿を迎えまし  
た。その頃近所にも、そ  
の年の人は居なかった  
ので、私はどうしても米  
寿のお祝いをしてやりた  
いと思い、母と相談しま  
した。すると母は、「そん  
なことをしたら、明日に  
も亡くなるよ」言いまし  
た。私はどうしても、  
母の子供八人、つまり私  
の兄弟に電話してみまし  
た。みんな賛成です。早  
速、兄嫁にも話したとこ  
ろ、大賛成です。

## 春 額田三保

春ですよー春ですよー

子供も若者も老人も皆が  
待つていた、春ですよ。  
柔らかくて、ふんわり暖  
かい春の風。何だか嬉し  
くなりませんか、特に老  
人の私たちにとっては、  
何がなくても暖かい春が  
一番恋しいと思うのです。  
さあ頑張らなくちゃー  
でもね身体が効かない動  
かないと、不足が一杯。  
その上することも無いな  
んて言ったら駄目なん  
です。春こそが老いの味

嫁がいろいろと段取りを  
付けてくれて、集会所か  
らテーブルを借り、40  
人近くが集まるように  
して、皆に都合をつけて  
出席するように、連絡も  
終りました。

いよいよ当日です。千  
葉県九十九里まで一番遠  
い私共も東京から三時間  
の道のりをかけ出発です。  
おめでとー！到着して  
驚きました。43名の集  
まりの中央に母が赤いズ  
キンとチャンチャンコを  
着て、にっこりしていま  
した。出席者の中で、私  
の末孫が三才で一番幼か  
ったと思います。兄の挨拶  
から始まり、子供たちに  
バラの花を持たせました  
が、何もわからない幼な  
子達は目の前のご馳走が  
気になりながらも、「オー  
バあちゃん、おめでとー！」  
と花を渡して、お食事が

始まりました。みんな楽  
しそうに、この家で育つ  
た頃の事を話し合い、昔  
話で大にぎわいでした。

母は涙ぐみながらもご  
馳走を食べています。私  
は集まって本当に良かった  
と思います、久しぶりに皆  
と逢えてジーンときてい  
ました。食事が終り、記  
念写真の撮影に並びまし  
た。今は成田の方で校長  
先生をしている甥がシャ  
ッターを切り、会は終り  
ました。



方ではありませんか、今  
年もまた春に会えた、そ  
の喜びは掛け替えのない  
物なのです。先ず目の前  
の桜を見て、なんて素晴  
らしいのだろうと、年々  
歳々、思いを新たに日本  
に生まれて良かったと思  
わずに居られませんか。兎  
に角春に浸りましょう。  
又会えた春に感謝して春  
を桜を満喫しようではあ  
りませんか、今までどれ  
程の人が春を、また桜を  
詩や短歌、そして絵に残  
して来たか限り有りませ  
んが、それを私達は心  
に残し脳裏に刻み続けて  
来、思いを膨らませて来

たのです。のどかな春、  
春風に乗って、思い切り  
心弾ませ若返りましょう。  
桜の中だと人は誰でも綺  
麗に見えるようです。お  
花見も良いのでは無いか  
しら？外に出られるのも  
今です。  
寒くて長い冬を超えて  
来たのですが、人はそれ  
ぞれ違います。他人には  
解らない悩み苦しみを抱  
えて居ます、でも折角の  
春を、自分なりの春を見  
付けて力一杯、明るく過  
ごしてね。そして来年の  
春又あいましよう。

## なんでも落語講座

七八 額田治夫

七は、亭号・屋号・家  
号の完結編です。

われこそは、古今まれ  
にみる斬し家。われこそ  
真の生と、初代・古今亭  
志ん生と言いう名ができ  
ました。  
江戸幕府の放牧場だっ  
た金原(千葉)の出身の  
馬生は金原亭と名乗り、  
馬派と呼ばれました。  
柳家といえは、「氣に入  
らぬ風もあるうに柳かな」  
と言われるぐらいいに、決  
してもものに逆らわない、  
自然のままが良い、素直  
が良いとのことから、五  
代目柳家小さんは、芸に  
対し素直でなければいけ  
ないと常に言っていたよ  
うです。

七はここでお終いです。  
(落語家・三遊亭楽春の落  
語豆知識より一部抜粋)  
八は、番外編として、  
お城の話です。  
記録によると、日本全  
国には2万以上もの城が  
築かれたことになりまが、  
その中には言い伝えのみ  
が残るものも多く、歴史  
的資料や遺構などを考慮  
すると、その姿のわかる  
城は約七千余りに絞られ  
ます。  
城には平地を利用した  
城、また山や丘を利用し  
た城があります。平地を  
利用して築かれた城を(ひ  
らじろ)といい、長大な  
石垣や水堀、多くの櫓や

城門などを備え、大兵力  
を蓄えることができまし  
た。また、湖や海が城壁  
に面している平城のこと  
を(みずじろ)と呼び、  
なかでも海に面するもの  
を特に海城(うみじろ)  
と称しました。

山城(やまじろ)は、  
山や丘の頂部を利用して  
築かれた城のことで、中  
世の城に多く存在しま  
す。自然を利用するため、  
築くのは比較的容易だ  
が、平地が少ないために  
大人数の兵士を収容でき  
ない場合がほとんどであ  
りました。今回は「こで、  
お終いですが、次回に続  
きがあります。  
(週刊日本の城より一部  
抜粋)



## ふわふわ亭、わび助

ベートーヴェンの字は  
お世辞にもきれいと  
は言えず。研究者がエ  
リーゼと読み間違えて  
しまったというわけだ  
った。

ベートーヴェンの「エ  
リーゼのために」はエ  
リーゼのための曲ではな  
かった。  
ベートーヴェン作品で  
最も有名な曲の1つ「エ  
リーゼのために」。この曲  
名にもなっているエリー  
ゼとは一体誰なのだろ  
う？。曲を贈るほどこか  
ら、さぞや大切な人なの  
だろうと思いきや、何と  
このエリーゼは実在の人  
物ではないという。「エ  
リーゼ」は後の研究者が読  
み間違えたもので、本当  
は「テレゼ」という人  
物だった。ベートーヴェ  
ンが書き残したオリジナ  
ルの楽譜には「テレゼ  
のために」と書かれてお  
り、テレゼ・マルフィ  
ティという女性に贈った  
曲と見られている。

## あおい俳壇・秋壇

米寿なる 吾を祝いて 孫たちの  
メール書き来る 健やかなれと  
麻生伊登子

寒風に 世塵払はれ 暮春なる  
空に秩父の 山をみ近し  
枝つやめきて ぬくき陽に  
三木美和

老梅の 萌え初玉蕾の ひとときはふむむ  
初参り 井草八幡 朱の鳥居  
相田美代子